

## 臨床研修レポート

今回、へき地医療として、新城市民病院で2週間の臨床研修をさせていただきました。新城市民病院での研修内容としては、初診外来、救急外来、病棟管理、介護老人施設研修、作手診療所研修、up to dateの発表でした。

初診外来では、問診から検査、診断、投薬や治療、入院までの経験ができました。いつもこなしている救急外来での勝手と違い、詳しい問診、検査など項目選択で、悩むことも多いでした。それでも、総合診療の先生方に自分の意見を尊重してくれた教え方をしてくださり、とても勉強になり、感謝しています。

救急外来でも、いつもと違う救急隊、看護師、道具などで戸惑うこともありました。場所が変わるだけで、いつもやっていたことが出てこなかったり、できなかったりと、自分の勉強不足やいままで周りに甘えていたことを痛感させられました。

午後には、初診外来、救急外来で見た患者の振り返りがあり、そこで様々なアドバイスや指導があり、本当に勉強となりました。現在の研修病院ではほとんどそのようなことがなく、指摘されることで、外来研修において、いつも考えて診察にあたっていない自分の甘さに気づくことができました。研修医として、残り一年もないですが、基本的なことをもう一度学習し、外来、救急外来の診療に頑張らなければいけないと思っています。

介護老人施設のサマリアの丘では、どのような人がこのような施設を利用するのか、利用形態はどうなのかなど、施設内を歩きながら、詳しく説明していただきました。私も地元鹿児島でこのような施設が多いため、今後にとっても役に立つ勉強ができました。

作手診療所では、画像検索はレントゲンしかない状況で、どのように診察していくのかを勉強できました。

介護老人施設、作手診療所の研修では、今後地元に戻った時に役に立つような勉強ができました。今回の経験を生かした医療をしていきたいと思いました。

Up to dateの発表では、めまいの治療について発表をさせていただきました。慣れていない和訳に苦労しましたが、どのように訳したらいいかなど考えいくうちに、理解が少し深まったような気がします。

2週間という短い研修でしたが、短いながらもとても勉強のできた2週間だったと思います。総合診療科の先生方はみなさんやさしく、丁寧に教えていただき、本当にありがとうございました。今回の研修で学んだことを今後にも生かしていきたいと思っています。